

# BCJ-SAR ISOだより Vol.20



財団法人 日本建築センターシステム審査部  
〒101-8986東京都千代田区外神田6-1-8  
TEL 03-5816-7522  
FAX 03-5816-7544  
ホームページ <http://www.bcj.or.jp>  
Eメール [sinsa@bcj.or.jp](mailto:sinsa@bcj.or.jp)

ISOだよりの所有権はシステム審査部に帰属します

## 我が社のISO(その19)

### 『我が社の改善提案制度』

当社は、京急グループの1社で、京浜急行電鉄(株)の鉄道施設、京急グループ各社を中心に、官庁、民間の土木、軌道、建築工事を行っている建設会社です。

\*

ISOについては2000年にISO9001、2004年にISO14001を認証取得し、現在両方のシステムを運用、管理しております。

現在当社では、ISOの他に顧客情報管理、契約、購買等に係わるイントラ上の処理システムなどを構築、導入しており、これらにISOの運用管理を含めたシステム構築の一部取り組み始めています。

ただし、ISOマネジメントシステムの規格要求事項を満足し、かつ上記のシステム要求、現場との実務整合、要求を図りながら実施している為、その調整には課題が少ないわけではありません。システム導入により、手順フローの複雑化、社員の運用理解度の格差発生、インプット情報誤入力による情報遅延と改善すべき点は少なくありません。ただ、これらが一体化し、多岐にわたる業務をスリム化、電子化する事で、品質保証、顧客満足の向上、環境ではペーパーレス化の促進、環境法規制の順守等に繋がっていくものとして、全社で取り組みを行っています。

\*\*

他には、全社員が半期に一度改善提案書を提出する改善提案制度があり、良いものは積極的に導入し、品質、環境のシステムに係わる改善情報としても有効活用しております。

京急建設株式会社

管理本部  
品質環境部 係長  
藤浪 隆司



また、地球環境規模で早急な対応が必要である「地球温暖化」、CO2削減についても、今年度より環境目的、目標として数値目標を掲げ、全社で削減活動に取り組み始めました。

このように当社では、様々な活動とISOのシステムとが結びつくよう試みを行っています。今後も、これらシステムの問題点、改善点を明確にし、一体化の促進、継続的改善に努め、社長の方針、経営理念である「信頼」を受け続ける会社として努力していきたいと考えております。

### 京急建設の概要

昭和36年 京浜不動産(株)を設立  
昭和45年 京浜ゴルフ(株)と合併  
昭和51年 社名を京急鉄建工業(株)に変更  
昭和62年 社名を京急建設(株)に変更現在に至る

### ●主な事業内容

建築物の設計、工事監理及び施工並びに土木構造物の施工

●所在地：東京都港区



## 審査員の目(その22)

岡部 敦夫

システム審査部  
登録審査員  
CEAR登録主任審査員



『住宅新築工事におけるゼロエミッション  
(積水ハウス(株)関東工場「資源循環センター」の事例)』

新築工事現場(リフォーム工事現場も含む)からの廃棄物を積んだトラックが「資源循環センター」(以下、単に工場という)内に入ってきて、一方通行しながら積載していた廃棄物をそれぞれの指定置場へ次々に降ろして、30分もしない間に帰って行く。これが繰り返され、廃棄物の受入れ量は1日平均約60トン、月間約1,500トン程になる。尚、搬入される廃棄物はあらかじめ工事現場で、廃プラ、紙類、木屑、金属、がれき・石膏ボード、ダンボール等に分別されているため異物の混入はほとんど無いという。

\*

工場では、現場分別が容易なダンボール、木屑、金属、がれき等の廃棄物にはあまり手間をかけない一方、種類の多い廃プラについては現場分別段階で、塩ビ管、クロス、梱包用PE、PPバンド、硬質・軟質プラ等に分別してあるものを、さらに約50種類に再分別する。これは、紙その他の異物が混じっていると再資源化できないためである。

\*\*

再分別作業は、約25人の女性作業員1人ずつがそれぞれ1~2品目を集中的に分別する「セル方式」という作業方法をとっている。これら作業員に対しては手順書に基づく徹底した教育訓練が行われており、現物を見ただけでプラスチックの種類を瞬時に判別し、分別できる能力を備えている。したがって、廃プラのマテリアルリサイクルが難しいのではなく、手間をかけられる環境を整えたことに最大の秘訣があるという。このように品目ごとに分別した廃プラや紙類はそれぞれ有価物としてリサイクル先へ出荷し、発泡スチロールはインゴットにして輸出する。

\*\*\*

最終的には、工場が受け入れた全廃棄物のうち約85%がマテリアルリサイクル、約10%が固形燃料(RDF、RPF)を含めたサーマルリサイクル、5%がガス化溶融炉を経て路盤材などに向けられている。

尚、建設廃棄物の回収ルートについては、建設現場への資材搬送車の返り便の使用、遠距離の場合は各地の物流センターをストックポイントとするなど明確に設定されている。

上記を成功に導いたのは、経営者の確固とした信念とリーダーシップ、担当部門の強力かつ弛まない行動力、工事現場へ廃棄物分別方法の指導等に基づく結果であり、業界の範となるものであると考える。今後引き続き住宅解体廃棄物についてのゼロエミッション化を期待する次第である。

(以上は、週刊 循環経済新聞(2007.11.12号)の詳細記事「積水ハウス・ゼロエミッションの舞台裏」、並びに審査時の観察結果による。)



### ■ISO/IEC17021移行認定 (品質)について■

かねてよりご案内いたしておりました、品質マネジメントシステム認証業務のISO/IEC17021移行認定につきましては、2008年4月23日開催の(財)日本適合性認定協会(JAB)マネジメントシステム認定委員会における審議の結果、同日付けにてISO/IEC17021マネジメントシステム認証機関として正式に承認されました。今回の移行認定に当たり組織の皆様にご協力をいただきましたことを厚く御礼申し上げます。

なお、この度のISO/IEC17021移行の承認に伴い、「認証登録証」及び「認定シンボル」等の変更作業を開始させていただきますが、「認定シンボル」等については2010年6月末までに変更して頂きますようお願いいたします。

環境マネジメントシステム認証業務のISO/IEC17021移行につきましては、現在JABによる審査を受けております。JABにより移行が承認されましたら、皆様に報告させていただきます。

## ■今年度開催される認証判定会議の日程は下記の通りです■

平成20年
6月24日(火) 13:00～
7月30日(水) 13:00～
8月27日(水) 13:00～
9月17日(水) 13:00～
10月22日(水) 13:00～
11月19日(水) 13:00～
12月24日(水) 13:00～
平成21年
1月28日(水) 13:00～
2月18日(水) 13:00～
3月25日(水) 13:00～

(財)日本建築センター(東京都千代田区)にて開催致します。



## ■再認証を迎える組織の皆様へ



審査時期によっては、審査が混み合う事が予想されますので、余裕をもって再認証申請書(品質)又は再認証申請書(環境)をご提出されますようお願いいたします。(再認証申請書の他に「申請者調査表」の提出が必要になります。)

申請書及び調査表は(財)日本建築センターホームページ(<http://www.bcj.or.jp>)よりダウンロードして戴くか、「QMS認証の手引き(QMR42)」又は「EMS認証の手引き(EMR42)」の関連様式をご利用下さい。

なお、ご不明の点等がございましたら下記までお問い合わせ下さい。

システム審査部  
TEL 03-5816-7522  
FAX 03-5816-7544



## ■「認証組織の集い」開催のご案内■

システム審査部では、認証組織の皆様との意見交換の場として開催している「認証組織の集い」を引き続き次の通り開催致しますので是非ご参加下さい。

- 鹿児島(かごしま県民交流センター)  
6月12日(木) 14:00～17:00
  - 名古屋(安保ホール402号)  
6月13日(金) 14:00～17:00
- 【参加費用は無料です】

問い合わせ先  
システム審査部登録課 矢實(ヤサネ)

前回(3月 東京、大阪)開催した「認証組織の集い」では「システムの活用状況」や「システムの改善状況」等について次のような意見交換が行われました。

- プロセスにのっとって仕事をしている人は、仕事の仕上がりが良い。
- 経営者はISOを活用することにより、仕事の質をあげ、コスト削減を図ろうとしている。
- 作業者自らが問題意識を持つように指導教育している。
- 現場代理人が部門長の前で成果について発表している。



## 編集後記

皆様は忙しい毎日をお過ごしのことと思います。

はじめとした梅雨の季節になりましたが、十分な休養と栄養補給でこの天候不順を乗り切っていきたいものです。

審査の間ではネクタイを外すのもいいかもしれませんネ!

審査員、システム審査部職員ともに皆様のお役に立てるよう引き続き努力していく所存です。

ISOだよりに対するご意見をお寄せ下さい。

**品質マネジメントシステム新規認証組織紹介（2008年4月～6月）**

認証番号 (BCJ-QS)	被認証組織名・事業所名	主な所在地	認証された品質マネジメントシステム
0873	荒井工業株式会社	栃木県那須烏山市 市田野倉16-1	土木構造物の施工 『適用除外項目：7.3設計・開発』
0874	大日建設株式会社	本社：宮崎県日南市 園田3-2-1	建築物の設計及び施工、並びに土木構造物の施工、並びに付帯サービス

**環境マネジメントシステム新規認証組織紹介（2008年4月～年6月）**

認証番号 (BCJ-EMS)	認証組織名・事業所名	主な所在地	認証された環境マネジメントシステム
0147	セキスイハイム九州株式会社、セキスイファミエス九州株式会社	セキスイハイム九州(株)本社：福岡県福岡市中央区高砂2-8-1 オヌキ高砂ビル セキスイファミエス九州(株)本社：福岡県福岡市中央区高砂2-8-1 オヌキ高砂ビル	工業化住宅の販売、設計、工事監理、施工及びアフターサービス並びに不動産販売